

確かな学力を育むために

家庭でのコミュニケーションを大切にしましょう

－ 仙台市標準学力検査、仙台市生活・学習状況調査結果の横断・縦断的分析結果から －

令和5年度の分析結果から「家庭でのコミュニケーション」と「自己肯定感」には関係があることが見えてきています(図1)。

また、「自己肯定感」と「学力」にも関係があることが見えてきています(図2)。

◎同様の傾向は、平成27年度に行った分析においても示されています。

図1 家庭でのコミュニケーションと自己肯定感

【対象】令和5年度 小3から中3(50,967人)

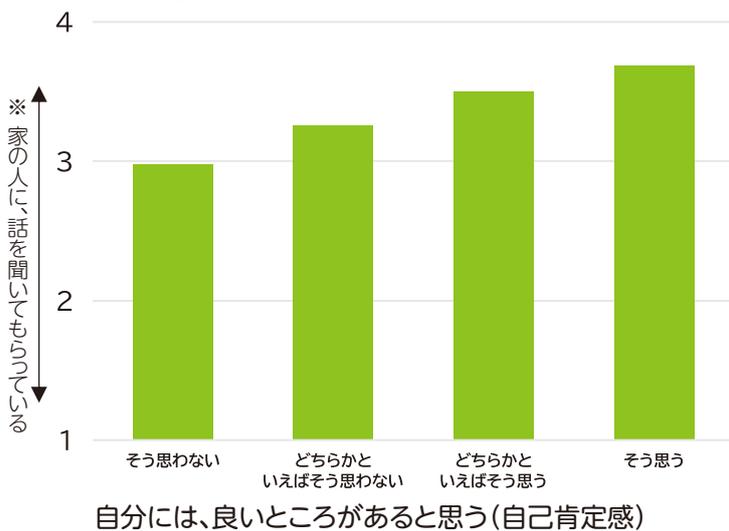
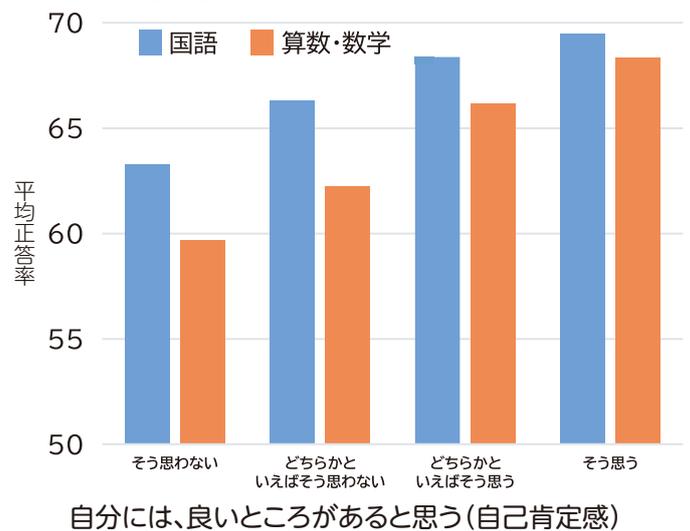


図2 自己肯定感と学力

【対象】令和5年度 小3から中3(50,967人)



家庭でのコミュニケーションと自己肯定感には関係がある

自己肯定感と学力には関係がある

※ 質問項目「家の人に、話をしっかりと聞いてもらっている」に対し、「聞いてもらっている」を4、「聞いてもらっていない」を1として平均を算出

これまでの調査で、「家庭で話をよく聞いてもらっていること」「自分を肯定し、大切に思う感情」「平均正答率」の3つの要素が関係し合っている様子が見えます。

家庭にできることは何か、大切にすべきことは何か、改めて考えてみましょう。

自己肯定感を高めるために、「家庭」にできること

生活・学習状況調査の質問の中から、自己肯定感と関係があった「家庭と関連する項目」をリストアップしてみました。これらは子どもたちの自己肯定感を育むための具体的な関わり方のヒントとなります。



家の人に、話をしっかりと聞いてもらっている

自分なりに頑張っていることや、興味があること、友達とのこと、悩んでいること等について、お子さんの気持ちや思いを受け止めながら、話を聞いてあげましょう。食事や買い物、送り迎えの時、休みの日など、ちょっとした時間を使ってコミュニケーションをとりながら、子どもたちが「自分は大切な存在だ」と実感できるように関わるのが大切です。

家の人、あなたの良いところを認めてくれていると思う

他の子と比較せず、お子さんらしさを認めるのが大切です。何かに一生懸命に取り組む姿が見られたら、その姿勢や取組の過程を認め、ほめたり、励ましたりしてあげましょう。いつでも「子どものよさを見つける」意識を持つことは、子どもに伝わるものです。

自分の将来について、家の人と話し合っている

お子さんが、これからについて考えていることやチャレンジしようと思っていることなどに耳を傾けるのが大切です。日々の学習や生活が、将来や自分らしい生き方に結び付いていくことも伝えながら、前向きな気持ちになれるように励ましましょう。子どもと一緒に考えていくことが大切な時間になります。

「家庭でのコミュニケーション」を大切にし、自己肯定感を高めていきましょう!!

令和5年度仙台市生活・学習状況調査の概要

生活・学習状況調査の目的

- ① 児童生徒の学習状況が分かる生活習慣や学習環境を、的確に把握し指導に生かす。
- ② 各学校が市の状況との関係において、自校における学習状況に関する教育の成果と課題を把握・分析し、指導の工夫・改善を図る。
- ③ 児童生徒の学習状況の現状や課題を全市的な規模で的確かつ客観的に把握・分析することによって、学習状況に関する様々な教育施策の成果と課題を検証し、確かな学力の育成に役立てる。

調査内容 (質問紙調査)

「学校生活」「授業」「学習意欲」「家庭生活」「自由時間」「家庭学習等」「社会・地域とのかかわり」「道徳心・挑戦・夢」「自分づくり」

実施状況

実施校数／全市立小学校118校 全市立中学校64校 中等教育学校1校
実施日／令和5年4月13日(木)を原則とし、4月12日(水)～17日(月)に実施
有効回答数／50,967人(小3から中3)

発行元 「学習意欲」の科学研究に関するプロジェクト 仙台市教育委員会



これまでのリーフレット

<https://www.city.sendai.jp/manabi/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/kanren/kyoiku/project.html>